

豊里



パークゴルフで親睦を深める

「JAみやぎ登米杯女子パークゴルフ大会」(みやぎ登米農業協同組合主催)は4月18日、豊里水辺の公園パークゴルフ場で開かれ、市内外から女性パークゴルフ愛好者144人が参加しました。会場付近の河川敷に満開の桜と菜の花が咲き誇る中、大会は1グループ4人で、36ホールの合計打数を競いました。ホールインワンが出ると大きな歓声が上がり、選手は手に汗を握りながら熱戦を繰り広げました。

華やかな演目で大盛り上がり

「平筒沼ふれあい公園桜まつり」は4月21、22日の両日、平筒沼youyou館を会場に開かれ、多くの来場者でにぎわいました。例年よりも早く咲いた桜は、見頃が過ぎていましたが、まつり当日は来場者の車で駐車場が満車になるほど。館内の特設ステージでは、米山、豊里の両文化協会が舞踊やフラダンスを披露。野外では、よさこいや和太鼓の演奏など、華やかな演目が披露され、大いに盛り上がりました。



米山

石越



子ども教室で初めましての会

石越放課後子ども教室「初めましての会」は4月12日、石越小学校(小松祐治校長、児童201人)で開かれ、参加児童とボランティアスタッフが交流を深めました。初めましての会では、小松校長が見守る中、初顔合わせの教室で児童とボランティアスタッフがそれぞれ自己紹介。参加者らは、校庭で桜を背景に写真撮影や、遊具で遊ぶ児童の見守り活動などをしながら、放課後の時間を仲良く過ごしていました。

世代を超えて輪なげを楽しむ

「第2回もっこり世界一の輪なげ大会」(さくらロード実行委員会主催、佐々木弘喜委員長)は4月21、22日の両日、南方大嶽山交流広場で開かれ、約300人が参加しました。晴天の下、小学生以下の子どもの部と大人の部、2部門で熱戦が繰り広げられ、1位から3位までの入賞者には、仙台牛や南方産米など地場産の豪華景品が贈呈。中国から県内に嫁いだ皆さんによる踊りも披露され、参加者は楽しいひとときを過ごしていました。



南方

津山



打囃子の音色響かせ安全祈る

麻崎神社の春の大祭「つやま打囃子保存会春祭り」(同保存会主催)は4月22日、柳津地区で開かれ、華やかな山車とともに子どもたちが町内を練り歩きました。つやま打囃子は、市街地の移転などにより一時途絶えましたが、1979年に保存会を結成して継承。交通安全や無病息災などを祈願しています。ねじりはち巻きに法被姿の子どもたちが、山車を引きながら打ち鳴らす太鼓や笛の演奏に、沿道からたくさんの声援と拍手が送られました。

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

迫



ハイクで心身のリフレッシュ

「スプリングハイク in 白石」(北方公民館主催)は4月24日、白石市「水芭蕉・どうだんの森」で開かれ、30人が新緑の中をハイキングしました。心身のリフレッシュを目的に、今年で3回目の開催。当日は小雨が降り、多少肌寒い天候でしたが、参加者は傘やポールを手に、元気に湿地帯を散策しました。周辺に咲いた白いミスバショウの花が、南蔵王の山麗に春の訪れを告げ、参加者の目を楽かせていました。

全校生徒で交通ルールを学ぶ

登米小学校(千葉道夫校長、児童201人)の「交通安全教室」は4月18日、春の交通安全市民総ぐるみ運動に合わせて実施されました。教室は、正しい交通ルールとマナーを身に付け、交通事故を防止するために毎年実施。高学年は、信号機が設置された校庭で自転車の操作や乗り方を学習。低学年は、校外の路上で歩行訓練をし、横断歩道では左右を確認しながら元気に手を挙げて渡っていました。



登米

東和



収穫を楽しみにマイタケ栽培

「マイタケの植え込み体験」は4月20日、東和町米川地内で実施され、みどりの少年団に所属する米川小学校の5、6年生13人が参加しました。同小学校では、総合的な学習の時間にマイタケの栽培や販売に取り組んでいます。今年も米川生産森林組合の協力のもと、マイタケの菌床2千個を植え込みました。夏に除草作業などをし、実りの秋には収穫。市内や仙台市などでおいしいマイタケを販売する予定です。

無事故無違反はみんなの願い

「佐沼地区交通安全協会上沼支部・石森支部合同交通安全街頭キャンペーン」(同支部主催、小野寺篤朗上沼支部長、皆川洋石森支部長)は4月8日、上沼新大柳地内交差点で実施され、会員約30人が参加しました。この交差点は、交通事故多発地点。ドライバーに交通安全啓発ティッシュとチラシを配り、安全運転を呼び掛けました。両支部長は、「今後も街頭キャンペーンを続け、1件でも交通事故を減らしていきたい」と話していました。



中田